

一般社団法人 那須野ヶ原青年会議所	
会員拡大特別委員会 基本計画	
委員長 星 雅人	
設 置 背 景	40歳で卒業となる青年会議所は、拡大活動を行わなければメンバーが減っていきます。長期的な展望を持って、地域にいる青年への丁寧なアプローチと、青年会議所の活動への理解の促進、関係性の構築を行い、安定的に青年会議所のメンバーを増やす取り組みが必要です。
設 置 目 的	2022年度期末50名に向け、長期的な展望を持って会員拡大を推進するため。
活 動 概 要	1. 1-1～2022年度期末人数50名達成に向けた会員拡大の実施（NJC50） 2. 2-1～会員間交流の機会の提供 3. 3-1～事業の共有化と参加・協力 4. 4-1～日本青年会議所及び関東地区・栃木ブロック協議会への参加・協力
KGI	1. 1-1～会員拡大に向けた計画立案が行われ計画を遂行している状態 2. 1-2～NJC50達成のための事業の創出 3. 2-1～会員間交流が活発化している状態 4. 3-1～事業情報が共有されメンバーすべてが事業協力を行える状態 5. 4-1～日本青年会議所及び関東地区・栃木ブロック協議会への参加・協力されている状態
KSF	1. 1-1～会員数50名への拡大計画を複数年計画にて立案 2. 1-2～メンバーの拡大意識向上及び大きな拡大の機会を創出 3. 2-1～近隣LOMや地域の諸団体を巻き込んだ交流を図る 4. 3-1～LOM内の協力の重要性の認識と会員間の絆の醸成 5. 4-1～成功事例等の拡大情報の収集共有と地域での実践
KPI	1. 1-1～毎月の拡大会議の実施 2. 1-2～メンバー出席率90%オブザーバー招致目標90% 3. 2-1～交流事業での諸団体への働きかけ10団体 4. 3-1～すべての事業の協力体制の確立 5. 4-1～各種大会での拡大事業への参加
SDGs	【8・11・17】
政 策 手 法	1. 1-1 単年度制を越えて繋がる会員拡大の基本的な手法を確立し、長期的な視座に立った継続的なアプローチの仕組みを作る。 2. 1-2 青年が未来を語り合う場を作り、共にこの地を創っていく人材を発掘すると共に、青年会議所の人がもつ魅力を参加者に感じてもらい、入会に繋げていく。 3. 2-1 青年会議所メンバーの長所・特徴・やれることが引き出され、青年会議所活動を越えた様々な場での連携につながるような交流事業を行う。 4. 3-1 紙・メール・ライン・公開委員会を効果的に活用して事業共有を行う。 5. 4-1 日本青年会議所及び関東地区・栃木ブロック協議会との予定調整を密に行う。
パートナー	（一社）黒磯那須青年会議所（事業共催）、（一社）たかはらさくら青年会議所（事業共催） 各市町商工会議所、商工会、各業種別協会及び組合や連盟他（事業交流）